

令和四年度 入学式 式辞

残雪の立山を仰ぐこの地にも、うららかな春が訪れ、満開の桜が今日の良き日を祝福してくれているかのようです。

本日、新入生の門出を祝い、立山町教育委員会教育長 杉田孝志 様、PTA会長 山本智秋 様のご臨席を賜りますとともに、保護者の皆様のご列席をいただき、ここに令和四年度入学式を挙行できますことを、厚く御礼申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、心から歓迎します。

在校生は教室でモニターを見ながらの参加となりましたが、新入生二百二十名を加えて全校生徒六百五十名が揃いました。ここに、令和四年度の雄山中学校がスタートします。

七十五年の歴史と輝かしい伝統を有する本校は、県下にその名を知られた文武両道の名門中学校です。皆さんの先輩方は、学業に部活動に熱心に励み、県レベル、全国レベルの大きな業績を残してこられました。次はいよいよ皆さんが雄山中学校の伝統を受け継ぐ番です。上級生と協力して「生徒の手による学校づくり」を力強く進め、雄山中学校をますます誉れ高い学校へと進化させてください。

さて、世界に目を向けると、新型コロナウイルス感染症で混乱した国際社会に追い打ちをかけるかのように、ヨーロッパで国と国との大きな争いが起きてしまいました。連日のように報道される現地からの映像を、世界が見守り心を痛めています。私達は、この現実をどのように受け止め、何を為すべきなのでしょう。

「教育基本法」第一条には「平和で民主的な社会をつくる力をもつ人を育てる」ことが教育の目的であると記してあります。次の時代を担う中学生こそこの大問題を真剣に考える必要があるのです。

テレビのニュースや新聞から確かな情報を得て、家族や友達と思いや考えを伝え合う。十年後二十年後の未来をどんな世の中にしたいのか。世界の平和と人類の幸福のために、未来の自分にできることはなんだろう。そして、そのために、今、どんな努力を

すればよいのか。時間をかけて考え、地道に行動していきましょう。

本年度、本校の学校教育目標を「高い理想を掲げて未来を語り、自己を鍛え続ける雄中生」としました。学校は立派な社会人となるための修行の場です。修行ですから、辛いことや面倒なこともいっぱいあります。しかし、それをがんばり乗り越えることで世の中に役立つ本物の力、底力が身に付くのです。友と語り合って理想とする未来を描き、そこで貢献できる自分になるための努力をひた向きに続ける。これが目指すべき雄中生の姿です。

これからの学校生活には自分を鍛えられる機会がたくさんあります。どうか、心と身体を鍛え、知性を磨くことを楽しんでください。そして、全校生徒が力を合わせて、明るく、楽しく、美しい雄山中学校を築いていってください。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。

今日から、私も教職員は、一人一人のもつ可能性を十分に伸ばし、社会に貢献できる力を身に付けるための教育に、全力で取り組んで参ります。ご家庭におかれては、お子さまを大切に見守るとともに、特に親子の語らいを通して、適宜・適切な助言をお願いします。体は大きくなっても、中学生はまだまだ発達の途上です。その事実を共有し、自主性を尊重しつつも、教えるべきことはきちんと教え、躡けるべきところはためらうことなく躡ける。それが本物の自立につながります。また、家庭と学校が同じ目線で子供の成長を見守り、その成長を喜び合う。そのような協力関係と信頼関係の上で、子供は安心してがんばることができます。今後の連携と協力を、よろしくお願いいたします。

立山町に唯一つの中学校、雄山中学校の教育を、地域・保護者の皆様との固い信頼関係の上に、大切に築き上げていきたいと考えております。今後とも本校教育へのご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和四年四月八日

立山町立雄山中学校 校長 高瀬 知郎